



<定点把握感染症>

◎ : 警報レベル ○ : 注意報レベル

疾患名	全国	山形県			山形市保健所			村山保健所			最上保健所			置賜保健所			庄内保健所			累積(県) 第1~36週
	第35週	第35週	第36週	増減	第35週	第36週	増減	第35週	第36週	増減	第35週	第36週	増減	第35週	第36週	増減	第35週	第36週	増減	
インフルエンザ定点 (定点医療機関数)		(46)			(10)			(10)			(4)			(9)			(13)			
インフルエンザ	1929 0.39	5 0.11		▽				5 0.50		▽										12789
小児科定点 (定点医療機関数)		(30)			(6)			(7)			(3)			(6)			(8)			
RSウイルス感染症	7673 2.43	167 5.57	158 5.27	▽	27 4.50	21 3.50	▽	57 8.14	39 5.57	▽		8 2.67	△	73 12.17	77 12.83	▲	10 1.25	13 1.63	▲	917
咽頭結膜熱	1354 0.43	3 0.10	5 0.17	△	2 0.33	2 0.33			1 0.14	△				1 0.17	1 0.17			1 0.13	△	477
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3875 1.23	78 2.60	73 2.43	▽	18 3.00	20 3.33	▲	8 1.14	24 3.43	△	5 1.67		▽	42 7.00	29 4.83	▽	5 0.63		▽	3810
感染性胃腸炎	9738 3.09	56 1.87	72 2.40	△	21 3.50	30 5.00	△	16 2.29	15 2.14	▽	3 1.00	3 1.00		10 1.67	16 2.67	△	6 0.75	8 1.00	△	6345
水痘	509 0.16	3 0.10	4 0.13	△		1 0.17	△	1 0.14	3 0.43	△				1 0.17		▽	1 0.13		▽	369
手足口病	9630 3.05	300 ◎10.00	327 ◎10.90	▲	27 ◎4.50	27 ◎4.50		38 ◎5.43	61 ◎8.71	▲	50 ◎16.67	40 ◎13.33	▽	115 ◎19.17	111 ◎18.50	▽	70 ◎8.75	88 ◎11.00	▲	4962
伝染性紅斑	2255 0.71	1 0.03	1 0.03		1 0.17		▽		1 0.14	△										1175
突発性発しん	1285 0.41	7 0.23	15 0.50	△	1 0.17	4 0.67	△	2 0.29	3 0.43	△	1 0.33	1 0.33		1 0.17	2 0.33	△	2 0.25	5 0.63	△	560
ヘルパンギーナ	3828 1.21	85 ◎2.83	78 ◎2.60	▽	1 0.17		▽	36 ◎5.14	41 ◎5.86	▲	1 0.33		▽	25 ◎4.17	3 0.50	▽	22 ◎2.75	34 ◎4.25	△	1145
流行性耳下腺炎	297 0.09	4 0.13		▽	1 0.17		▽				1 0.33		▽	1 0.17		▽	1 0.13		▽	51
眼科定点 (定点医療機関数)		(8)			(1)			(3)			(1)			(1)			(2)			
急性出血性結膜炎	9 0.01																			0
流行性角結膜炎	549 0.79	2 0.25	4 0.50	▲										2 2.00	4 4.00	▲				87
基幹定点 (定点医療機関数)		(10)			(2)			(2)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	5 0.01																			72
クラミジア肺炎	-																			0
マイコプラズマ肺炎	117 0.24		2 0.20	△		2 1.00	△													59
細菌性髄膜炎	5 0.01																			3
無菌性髄膜炎	18 0.04																			8

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数
※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

<全数把握感染症>

疾患名	報告数	備考
E型肝炎	1(山形市1)	
百日咳	2(村山2)	※内、第35週追加報告1人。 ワクチン接種歴:4回 2人。
風しん	1(村山1)	ワクチン接種歴:無し。
カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1(山形市1)	※第35週追加報告分。 90日以内の海外渡航歴:無し。

<通信欄>

※村山保健所管内で風しんの報告が1名ありました。
(9月3日プレスリリース)
トピックスで、風しんについて掲載しています。
風しんの詳細は、下記のアドレスから参照できます。
◎風しんについて(出典:厚生労働省HP)
https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryo/kenkou/kekaku-kansenshou/rubella/

※夏風邪(手足口病、ヘルパンギーナ)の流行が続いています。
症状が回復した後も2~4週間にわたり便中にウイルスが排泄されますので、おむつ交換やトイレのあとは特に手洗いを念入りにするようにしましょう。

※警報・注意報の基準値

疾患	警報レベル		注意報レベル
	開始	終息	
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。

<定点把握感染症 報告患者数 年齢別>

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	合計
インフルエンザ	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									0
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症	11	32	54	33	12	8	5	1		1		1			158
咽頭結膜熱		2	2	1											5
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			3	3	6	9	20	7	4	6	6	7		2	73
感染性胃腸炎		1	14	9	4	5	6	5	9	5	2	12			72
水痘					1		2	1							4
手足口病	1	25	95	59	66	31	23	10	5	3	4	5			327
伝染性紅斑						1									1
突発性発しん	1	2	10	2											15
ヘルパンギーナ	1	1	17	23	10	9	10	5				2			78
流行性耳下腺炎															0

< 令和元年7月 月報 >

2019年8月21日 発行

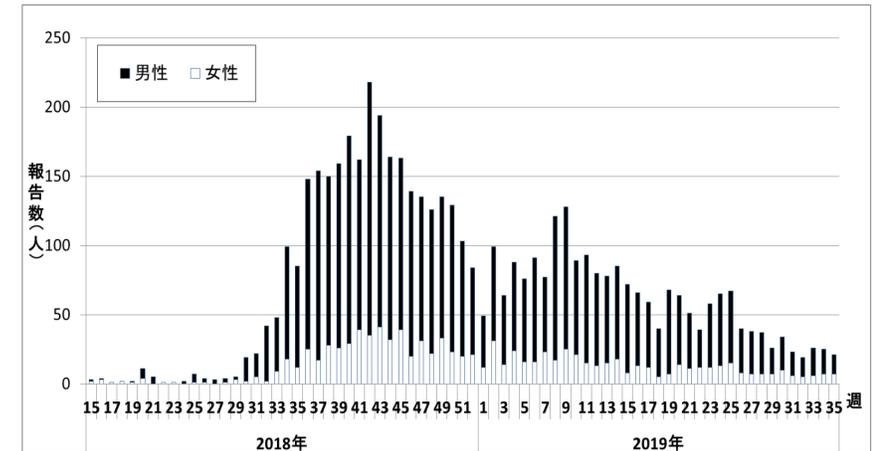
疾患名		山形県		山形市保健所		村山保健所		最上保健所		置賜保健所		庄内保健所		累積(県) 1～7月
		6月	7月	6月	7月	6月	7月	6月	7月	6月	7月	6月	7月	
STD定点	(定点医療機関数)	(10)		(3)		(1)		(1)		(2)		(3)		
性器クラミジア感染症	報告数	22	10	13	4			2	3	2	6	2		98
	定点当り	2.20	1.00	4.33	1.33			2.00	1.50	1.00	2.00	0.67		
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数	3	8					3	1	3		4		54
	定点当り	0.30	0.80					3.00	1.00	1.50		1.33		
尖圭コンジローマ	報告数	3	1	2						1	1			14
	定点当り	0.30	0.10	0.67						0.50	0.50			
淋菌感染症	報告数	7	2	3	1	1				1	3			27
	定点当り	0.70	0.20	1.00	0.33	1.00				0.50	1.00			
基幹定点	(定点医療機関数)	(10)		(2)		(2)		(1)		(2)		(3)		
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数	6	5					1			6	4		35
	定点当り	0.60	0.50					1.00			2.00	1.33		
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数	17	20	2	3	5	2	3	2	3	3	4	10	138
	定点当り	1.70	2.00	1.00	1.50	2.50	1.00	3.00	2.00	1.50	1.50	1.33	3.33	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数													0
	定点当り													

<トピックス>

風しん 情報

第36週に、風しんの報告が1人(村山保健所)あり、2019年の山形県内での風しん報告数は、合計で3人となりました。関東を中心とした風しんの流行は未だに終息しておらず、引き続き注意が必要です。

・全国の風しん報告数(2018年第15週～2019年第35週)



<風しんから赤ちゃんを守りましょう>

妊娠初期の女性が風しんにかかると、胎児が「先天性風しん症候群」になるおそれがあります。風しんは感染力が強く、症状が出ないままほかの人にうつしてしまうことも多いため、社会全体で風しん予防に取り組む必要があります。



<風しんはワクチンで予防できます！>

風しんは2018年夏ごろから流行しており、患者の多くが30～50代の男性です。この世代は風しんの公的な予防接種を受ける機会が一度も与えられなかったため、報告が多くなっています。

山形県では今年度から対象の世代(昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれ)の男性へお住まいの市町村から抗体検査を無料で受けられるクーポン券を順次送付しています。検査の結果、免疫力が不十分である場合は無料で予防接種を受けることができます。

(お住まいの市町村以外でも検査・予防接種可) 県内の下記URLの医療機関で受け付けています。

<https://www.mhlw.go.jp/content/000516975.pdf>

また、職場や市町村の健康診断の機会に風しんの抗体検査を受けることもできますので、勤務先や市町村へお問い合わせください。

